

(常磐地区まちづくり検討会)
第4回ワーキンググループ会議
(HuLabo①)：居心地のよい駅前空間づくりWG
要旨

■ 日 時

令和4年5月16日(月) 18:00~19:30

■ 場 所

常磐公民館 第1会議室

■ 会議の流れ

1 開会

2 挨拶(都市計画課)

3 議事

○ 居心地の良い駅前空間の実現に向けた施策案の整理について

(1)方針1 「多世代が集う交流拠点の整備」に関する施策案

(2)方針2 「温泉とフラのまちの玄関口としての景観整備」に関する施策案

・別紙「説明資料」に基づき、事務局がこれまでの検討経過や施策案、官民連携事業の概要などを説明し、その後、意見交換を実施。

4 その他

・今後の進め方について(第2回まちづくり検討会、市民説明会の実施など)

5 閉会



■ 意見交換の概要(要旨) ○：関係団体委員 ⇒：事務局・行政委員

○ 一番町商店街の一方通行道路は駅まで通さないで行き止まりになるのでしょうか。

⇒ 今後、地域の方との意見交換で街区の形状は変更になる可能性もありますが、現状は、県道側へ抜ける計画案として検討しています。

○ 駐車場は平面駐車場と立体駐車場のどちらで検討していますか。

⇒ 150台程度の駐車台数を想定しているため、立体駐車場での検討をしています。

○ これまでの意見交換の中で、様々な意見が出ていると思いますが、行政側が都合のいい意見だけを取り入れてしまっただけでは誰も幸せにならないと思います。また、住民の意見はあくまで素人の意見なので、今後は専門家の考えや説明を聞いたうえで意見交換を行いたいです。

⇒ すべてのご意見のとおり実現することは困難だと考えています。しかし、皆様から頂いたご意見をどのように街の皆様のご意見としてまとめていくかが重要なので、今後は進め方についても検討していきます。

○ 専門家は必ずしも外部の方でなくてもいいと思います。行政の方もまちづくりの専門家だと思っているので、どうしてこのような計画案になっているかの説明を大切にしてほしいです。

○ 公共施設の集約について、常磐公民館、関船体育館、常磐市民会館の機能をダウングレードして集約したところで、きちんとしたスポーツができなくなるようであれば、21世紀の森公園にスポーツ機能は整備すべきではないでしょうか。また、現在の案ではスポーツ施設としての機能と文化施設としての機能を併用する多目的スペースとな

っていますが、スポーツ以外で施設を使用する際は床を養生することとなるので、使い勝手は圧倒的に悪くなります。施設を集約する際は使い勝手についても検討してもらいたいです。

⇒ 体育機能の集約について、現在、いわき市には総合運動場があり、21世紀の森公園に2つ目をつくるとなると目的等の整理が必要になってくると考えています。

○ 駅前に交番機能がなくて困っているので整備の検討をお願いしたいです。

⇒ 交番の設置については警察との協議が必要となるため、行政のみで整備を決めることは困難となっています。しかし、今後、施設づくりに向けて配慮していくべき意見として、引き続き検討していきますが、地域の皆様においても、警察に要望を提出するなど、行政と地域が連動した取り組みをお願いしたいです。

○ 施設づくりの考え方として、“車中心から人・公共交通中心への転換”と記載していますが、人にやさしい街づくりについては大賛成です。しかし、はたして健常者だけで決めていい内容なのでしょうか。また、車いすの方や杖をつく高齢者が駐車場に車を止め、県道を横断歩道でわたることが本当にできるのか真剣に検討していただきたいです。個人的にはペDESTリアンデッキの設置を提案します。

⇒ 道路の横断方法については、警察と協議を進めているところであり、足の悪い方等に対する駐車場は各施設にも設置する案を検討していきます。また、ペDESTリアンデッキの設置については施設配置を考えていく中で必要性を検討していきます。

○ 駐車場の“施設づくりの考え方”で決定的に欠落しているのは安全な人の導線ではないでしょうか。

⇒ 考え方を整理し、資料に記載するようにします。

○ 以前、窓のない物流倉庫のような施設ができるイメージ図を見た事があるのですが、どのような施設をイメージされていますか。

⇒ 物流倉庫のようなものではなく、外とのつながりを意識した、新しい街のシンボルとなる外観になるような施設づくりの方針としています。

○ 駅前広場の“整備コンセプト（案）”として“公共交通の利便性・快適性を向上させる（利用者増加）”と記載していますが、公共交通は目的地に行く手段として利用するわけなので、利便性が向上したから利用者が増加するわけではないと考えます。公共交通の利便性を向上させることも大切だと思いますが、目的地（コンテンツ）が少ないままでは利用者は増加しないのではないのでしょうか。

⇒ 目的地を増やすことが利用者の増加につながることを考えていますので、HuLabo②の取り組みの中で検討していきます。

○ 駅前の交通広場の利用状況について、地元高校生等の送り迎えでゴった返す時間帯があるので、送り迎え用のスペースを検討することも重要ではないかと考えます。

⇒ 今後の関連部署等との協議で整備内容や運用に対する規制等を検討していきます。

○ 駅前の車の導線について、信号がない交差点から県道にでるのは危険ではないでしょうか。

⇒ 警察との協議を行っていますので、信号の設置位置等を含めて検討していきます。

○ 公共交通と二次交通、駐車場をバラバラに考えていると交通に関する議論が中途半

端になってしまうのではないのでしょうか。

⇒ 公共交通と二次交通の連携は必要だと考えるので引き続き検討していきます、また、施設づくりの考え方として、“車中心から人・公共交通中心への転換”と記載しているとおおり、人の導線と公共交通の導線をどのように融合させていくかがポイントになると考えています。

○ 駅前広場の言葉の使い方について、駅前広場だと公園のようなイメージがあり、イメージ図だと駅前広場はロータリー（交通のためのスペース）になっているので違和感があります。

⇒ 駅前交通広場に修正します。

○ 基本計画策定後も意見交換の内容は反映していくとのことですが、基本計画で決まる内容を説明してほしいです。

⇒ 基本計画では、施設づくりの考え方（進め方）や規模感の案を定めることとしており、建物の配置は確定しません。また、考え方や街区についても警察、交通事業者、県等との協議で変更になる可能性があります。

⇒ 今後は、基本計画で定めた考え方に沿って次のステップに進み、引き続き地域の皆様と協議を行っていくこととなります。